

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 5 月 1 日

事業所名 こどもプラス豊見城教室別館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	0	曜日ごとに均等になるように保護者と調整している。	今後、劣化した場所の修繕修理を予定。
	2	職員の配置数は適切である	4	5	0	利用者数に合わせて職員の休みを調整している	曜日や職員の希望休みによっては職員が不足している日がある。その為、今後は事前に職員の休みと利用者数を調整できるようにシフトを組む
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	1	クッション材を設置したり、視覚化できる所は視覚化している。	建物の都合上全部は出来ていない。今後、不動産や業者と確認して更に改善できる所は取り組んでいけたらと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	0	朝・昼・終礼で話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	毎年行い、保護者からいただいたご意見を改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	0	毎年行い。公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	0	動画研修や外部の研修へ参加している	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0	契約時や利用開始時に確認しつつ、作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0	決められたツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	0	担当が中心となり、毎回立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2	0	利用者メンバーや週ごとにプログラムの内容を変更している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	0	長期休暇の際は夏休みの宿題に取り組めるよう時間をつくっている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	0	運動と静かな時間(座っての活動)を毎回入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	朝礼や前日の終礼で確認している。イベントによっては前もって準備するようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	朝礼や前日の終礼で確認している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	利用後に毎回記入している。必要に応じて終礼でも職員間で共有している	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1	0	管理者が参加し、支援者皆に周知判断している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	3	0	児童に合わせて支援を行っている		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	9	0	0	管理者が参加し、支援者皆 に周知し判断している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8	1	0	変更があればその都度 LINEや電話で連絡をいた だいている。必要であれば保 護者や学校に確認するよう にしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	9	0		現在、対象の児童はいないが、必要に応じて行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	9	0	0	相談員を通して会議の場を 設けるようにしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	0	9	0		現在、対象の児童はいないが、必要に応じて行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	6	0	研修があれば参加してい る。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	6	2	地域の公民館・児童館のイ ベントに参加したりしてい る。	感染症やコロナの流行で行えていない時期もあったので、今後は積極的に参加予定
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	7	0		担当をつくり、業務状況を見ながら定期的に参加出来るように調整中
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9	0	0	送迎時や必要に応じて面談 を行っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	3	0	ペアトレではないが、必要に 応じて相談や助言を行って いる		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	3	0	契約時や変更があった際は 直接説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	9	0	0	送迎時や必要に応じて面談 を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	3	5		今後開催予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8	1	0	必要に応じて管理者が対応 し、問題点や改善点を支援 者全体で話あって対応して いる	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	2	0	毎月全利用者へ配信してい る	
	35	個人情報に十分注意している	8	1	0	鍵付き金庫に居れたり、外 部から見えない場所に保管 するようにしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	相談員や保護者の親も一 緒に周知したり、会議を行う ようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	2		今後イベントを開催予定
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護 者に周知している	5	4	0	研修にて確認したり、変更 や追加があれば都度確認 するようにしている。	全保護者への周知が出来ていないので、送迎時やモニタリング等の際、伝えていければと思う。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	0	毎年2回行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	毎年全職員で行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	4	0	必要に応じて保護者に確認している	今後必要な児童は保護者へ確認後、支援計画に反映、修正作成予定です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	0	対象児なし。	今後いた場合は対応予定
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	都度作成し、周知・改善点を話し合っている	